

山口県スポーツ推進計画【改定版】(案)に対する意見の募集結果について

山口県では、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、「山口県スポーツ推進計画【改定版】」を策定しましたので、公表します。

また、計画の策定に当たり、計画案に対して実施したパブリック・コメント（県民意見の募集）の結果について、併せて公表します。

1 公表する資料

- (1) 山口県スポーツ推進計画【改定版】（概要）
- (2) 山口県スポーツ推進計画【改定版】（全文）

2 提出いただいた意見とそれに対する県の考え方

- (1) 意見の募集期間
平成30年7月9日（月）から平成30年8月8日（火）まで
- (2) 意見の件数
8人 24件
- (3) 意見の内容と県の考え方

【計画の基本的事項に関するもの】（1件）

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
1	スポーツ推進計画では、「生涯スポーツの推進」、「競技水準の向上」、「人材の育成」、「交流人口の拡大と地域の活性化」と4本の柱が明確で、県の施策の方向性がわかりやすく示されていると思う。それぞれ具体的な数値目標と取組内容について、ぜひ実現を目指してほしい。	「輝く、夢あふれるスポーツ元気県やまぐち」の実現に向け、引き続き4つの基本方針に沿って、スポーツの振興や交流人口の拡大、地域活性化に向けた様々な施策を総合的・計画的に進めてまいります。

【施策推進の方向に関するもの】（10件）

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
2	日常的にスポーツ・運動を行っていない理由として、「仕事が忙しく帰宅が遅くなる」、「運動する機会や仲間がない」等があげられる。国の計画でも「週1回のスポーツ実施率を65%に引き上げる」とされたところであり、この実現に向けた取組の推進を期待する。	スポーツ実施率の向上については重要な課題であると認識しており、改定計画においても、「スポーツ活動への参加の促進」を位置付け、特に「働く世代」や「子育て世代」のスポーツ活動への参加促進に向けた取組や、地域におけるスポーツ活動の拠点づくりについて、重点的に取り組んでいくこととしています。

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
3	総合型地域スポーツクラブが自宅から遠方にある。誰もが気軽にスポーツ・運動に親しめるように、県内にもっとバランスよくスポーツクラブを設立してほしい。	誰もが身近な地域でスポーツ活動に参加できる機会を確保することは重要であると認識しており、改定計画においても、「地域スポーツ推進拠点の整備」を位置付け、市町や関係団体等と連携を図りながら、地域スポーツの推進拠点となる総合型地域スポーツクラブの設立促進や活動の活性化に向けた取組を進めていくこととしています。
4	スポーツ少年団について、少子化等により団員数が減少し、学校単位での活動が困難となったチームもあると聞いた。スポーツ少年団活動への参加促進や指導者の資質向上など、その活動の充実を図ってほしい。	スポーツ少年団は、地域における子ども達のスポーツ活動の場として重要な役割を担っていると認識しており、改定計画においても「地域スポーツ推進拠点の整備」を位置付け、市町や関係団体等と連携を図りながら、その活動の充実や活性化に向けた取組を進めていくこととしています。
5	日常的に運動を行うことができるよう、簡単な運動や体操、健康寿命を延ばすための運動の程度・方法等の紹介や、運動を習慣化できるような方法に関する情報の提供をお願いしたい。	スポーツを通じた健康・体力づくりを進めることは非常に重要な取組と認識しており、高齢者福祉、健康増進関係部局とも連携を図りながら、健康づくりや体力づくりに向けた取組の推進や情報発信に努めてまいります。
6	サイクリングについて、本格的な競技や長距離走行だけでなく、気軽に観光地でサイクリングが楽しめるようなコースや休憩所などを増やし、それをわかりやすくPRしていくと、一般の人や観光客の利用も増えるのではないかと。	「サイクル県やまぐち」の取組の中で、県内各地にサイクリストの休憩場所となるサイクルステーションやサイクルエイド等の整備を進めているところです。引き続きサイクリングを快適に楽しめるよう環境整備に努めるとともに、サイクルスポーツに関する情報発信に努めてまいります。
7	東京オリンピックの新種目にもなったBMXや3人制バスケット、スポーツクライミング、また、eスポーツ等、新たな分野のスポーツ振興に取り組む予定はないか。これから先、若い人を中心にスポーツ人口を増やすためにも有効だと思う。「スポーツ資源を活用したMICE誘致の促進」に含まれるのか。	新分野スポーツの振興は重要な課題であると認識しており、改定計画においても、「スポーツを通じた交流人口の拡大と地域の活性化」の中に位置付け、MICE誘致も含めた新分野スポーツの推進に取り組んでいくこととしています。
8	ロシアワールドカップでも話題となった日本人の観戦マナーについて、とても誇らしく思う。東京オリンピック等の開催に向け、スポーツへの関心が非常に高まっている中、県としても、スポーツに関するマナーアップを掲げてはどうか。	ご意見につきましては、今後の施策推進に当たって参考とさせていただきます。
9	サッカーJ2でトップ争いを繰り広げているレノファ山口FCは、山口県の貴重な財産であると感じている。今後もトップスポーツクラブと連携した施策により、大人から子どもまで全ての県民がスポーツに関わるようになることを期待する。	レノファ山口FCをはじめ、トップスポーツクラブの活躍は、県民に夢や元気を与え、スポーツの振興や交流人口の拡大、地域の活性化にも繋がると認識しています。ご意見を踏まえ、引き続き、県民のスポーツ活動への参加促進など、トップスポーツクラブと連携した取組を進めてまいります。

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
10	レノファ山口FCを多くのサポーターがスタジアムで応援する姿に大変感動している。多くのアウェイサポーターが山口県を訪れており、レノファ山口FCの存在はとても大きいと感じている。レノファ山口FCだけでなく、山口県で頑張っているトップスポーツクラブを今後も支援してほしい。	レノファ山口FCをはじめ、トップスポーツクラブの活躍は、県民に夢や元気を与え、スポーツの振興や交流人口の拡大、地域の活性化にも繋がると認識しています。ご意見を踏まえ、市町等と連携を図りながら、スタジアムへの誘客促進や公式戦の広報・啓発など、県内を拠点に活躍するトップスポーツクラブの支援に努めてまいります。
11	先日、陸上競技の日本選手権が維新みらいふスタジアムで開催された。これほど注目度の高い大会が山口県で開催されることは大変喜ばしい。ぜひ、数年に一度は注目度の高い大会を誘致し、県民を元気にしてほしい。	競技関係団体等と連携を図りながら、トップレベルの選手の活躍やパフォーマンスを身近に体感できる機会となる大規模大会等の誘致・開催に努めてまいります。

【その他計画全体に関するもの】(2件)

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
12	考え方や方針を決める元となるデータや数値について、表やグラフを用いてわかりやすくすべき。また、専門用語が多いので、用語の解説も加えるべき。全体的に図表や写真などを加え、県の施策のイメージが湧きやすくすることも必要	ご意見を踏まえ、よりわかりやすい表記となるよう、データに係る図表やグラフ、イメージ写真、用語解説を掲載しました。
13	目標に「全国のトップレベルを目指す」という記述が散見された。目標をこのように設定するのであれば、現在の山口県の順位だけではなく、全都道府県の数値データ(グラフ)を明示し、現状の「トップレベル」(や下位レベル)と「山口県」の差を明らかにすべき。	ご指摘を踏まえ、全国上位自治体の状況について、注釈に追加記載しました。(全都道府県の数値を掲載・比較することは考えていませんが、出典を記載しておりますので、全都道府県のデータについて個別にご確認いただくことは可能と考えています。)

【パブリック・コメント等に関するもの】(11件)

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
14	全く同時期に14件のパブリック・コメント(県民意見の募集)が集中している状況での意見作成について、1ヶ月では到底困難と感じている。期間中に県内では豪雨災害が発生、資料参照・意見作成もままならない県民もおられ、当状況を考慮し、意見募集の期間延長又は意見再募集をすべきと考える。	本パブリック・コメントは、「山口県パブリック・コメント制度実施要綱」に基づき実施しております。 意見募集の時期・期間については、各々の計画など作成過程の中で決定しており、期間延長等の予定はありません。
15	行政では、1企業の申請に対して、内規に定める期間を超過して「資料不足」を理由に「資料再提出」を指示し、数年単位の長期検討を実施した例がある。「県民＝主権者」からの「資料不足又は期間不足による意見募集の期間延長／再実施」の要請を断るのであればその理由を明示すること。	

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
16	<p>今回の意見募集の広報・記事扱いが実際の程度であったのか、後々「広報が十分なされたか」を判断する為にも、県のホームページではなく、一般県民が広く目にする新聞にどう広告・記事を掲載されたのか、『具体的(媒体、掲載日、大きさ)』に提示されたい。</p>	<p>パブリック・コメントの実施については、記者配布を行い、県ホームページに掲載するとともに、新聞広告(7月15日の山口新聞)により、広報に努めました。</p> <p>県広報誌は年4回の発行となっており、原稿を入稿する時期との兼ね合いから、主に速報性のある県ホームページや新聞広告等を活用した広報に努めています。</p> <p>限られた予算の中、いかに効果的に広報を行うか、今後とも検討してまいります。</p>
17	<p>意見募集期間中の8月発行の県広報誌にパブリック・コメントの記述は全くなかった。具体的案件は〆切などの関係で記載できないとしても、「県民意見を募集している場合がありますので県ホームページをご確認願います」といった一般的広報は可能ならずであり、県広報誌にこのような文面を掲載しないのは「意見募集に消極的」としか思えない。県広報誌には、常時パブリック・コメント/県民意見募集の一般的広報を掲載してほしい。パブリック・コメント/県民意見募集の一般的広報の掲載がない理由を明示願う。</p>	
18	<p>山口新聞7/15に新聞の下5段程度掲載でパブリック・コメント14件の記述があったが、1件での小さい新聞広報より「山口県広報」の大きい広報内の記載の方が県民の目に留まる可能性も高まると思われる。</p> <p>意見募集期間内の「山口県からのお知らせ 山口県広報」には、常時「パブリック・コメント/県民意見募集」実施中の広報をお願いする。</p>	
19	<p>パブリック・コメントの期間が1ヶ月である一方、県広報誌は隔月或いは3ヶ月の間隔(5月発行の次が8月発行)となっている。県の施策広報の為には最低毎月発行が必要な県広報誌を隔月(以上の間隔)での発行としている理由を明示願う。</p>	
20	<p>これまでの「パブリック・コメント/県民意見募集」の広報についての意見に対する回答内容や、意見送付県民数・意見数から、当「県民意見の募集」の広報は十分になされたと考えているか。十分か不十分かの判断を明示願いたい。</p>	
21	<p>パブリック・コメントが同一期間に14件と極端な案件集中となっている。県行政として「意見募集の集中」について対応を取っているのか、取っていないならばその理由を、取っているのであれば、なぜ今回14件の集中が発生したのか明示願う。</p>	<p>総合計画であるやまぐち維新プランの策定に併せて、関連する各部局の施策別計画も改定しているところであり、6月県議会における素案の審議を経て直ちにパブリック・コメントを開始したことから、結果として時期が集中したところです。</p>

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
22	県民からの意見募集の他に、住民・関係者・専門家、或いは市町自治体からの直接の意見聞き取り等の実施をお願いします。	当計画の改定に際しては、県民へのアンケート調査の実施や山口県スポーツ推進審議会の開催等、幅広い意見聴取に努めました。
23	年次把握がしやすいように、年代は元号西暦を併記すべき。今後を考えると、西暦のみ表記に統一すべき。	ご指摘の意見について、今後の実施に際し、参考にさせていただきます。
24	専門用語・行政用語が多数見受けられた。語句解説の追加をお願いします。また、パブリック・コメント(県民意見募集)への「語句解説」記載の一般化をお願いします。	用語解説について、ご意見を参考に追記しました。また、他のパブリック・コメントにおいても、必要に応じ用語解説を付け加えるよう務めてまいります。